

たのしい  
さわぎを  
おこしたい  
*Let's have fun!*



2017年6月期 決算説明会



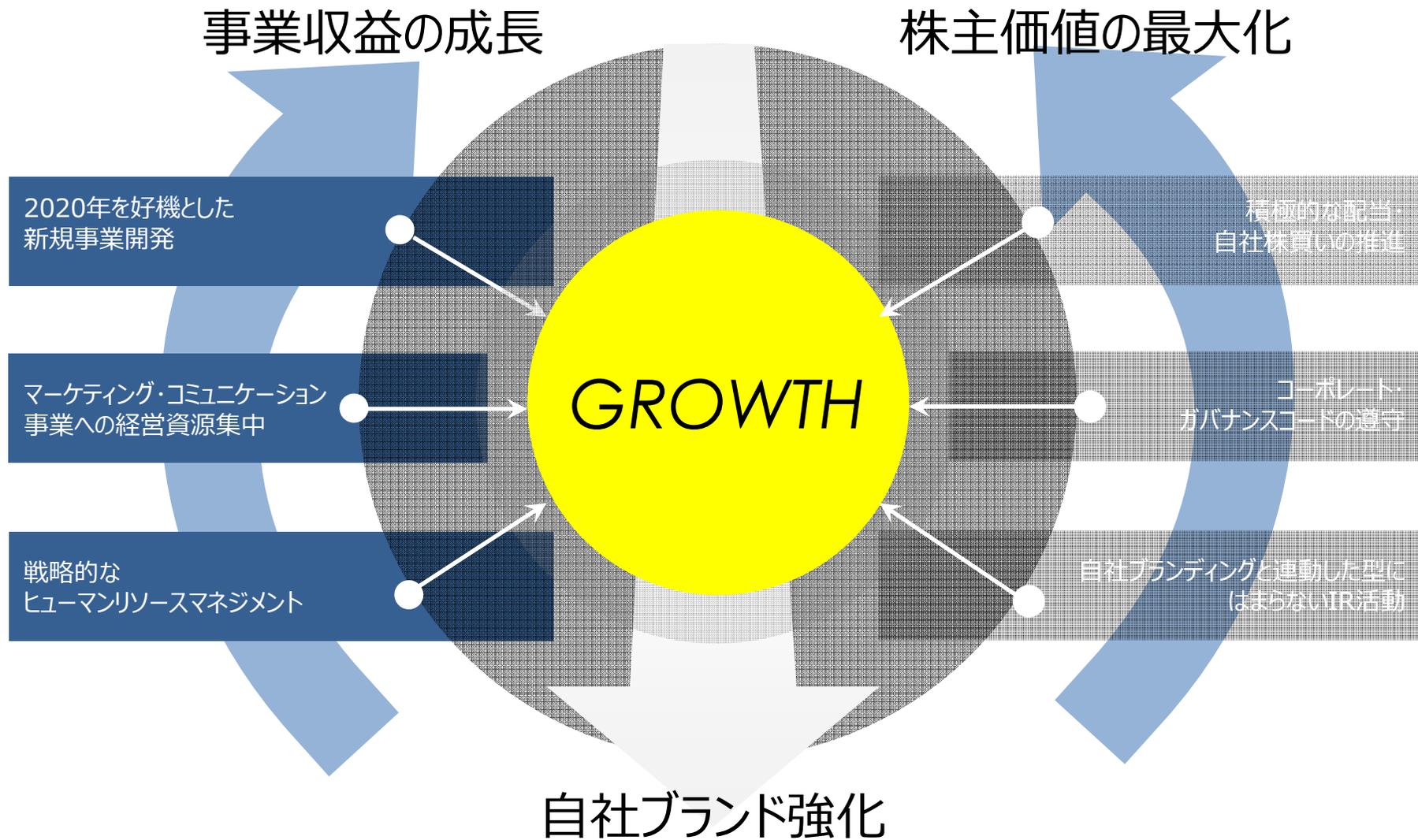
■ 基本戦略

■ 2017年6月期連結業績ハイライト

■ 2017年6月期活動ハイライト

■ 最新トピックスのご紹介

■ 当社の働き方改革



	2	0	1	7	年	6	月	期
連	結	業	績	ハ	イ	ラ	イ	ト

# 2017年6月期 連結業績実績



## 前期比および予算比

(単位：百万円)

	2017年6月期 予算	2017年6月期 実績	予算比 増減率
売上高	13,151	13,891	5.6%
営業利益	323	387	19.8%
経常利益	461	494	7.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	378	304	△19.6%

2016年6月期 実績	前年同期比 増減率
13,393	3.7%
447	△13.4%
236	109.2%
△216	—

- 売上高は、2期連続で過去最高を更新
- 経常利益は、過去最高に次ぐ、4.9億円を計上

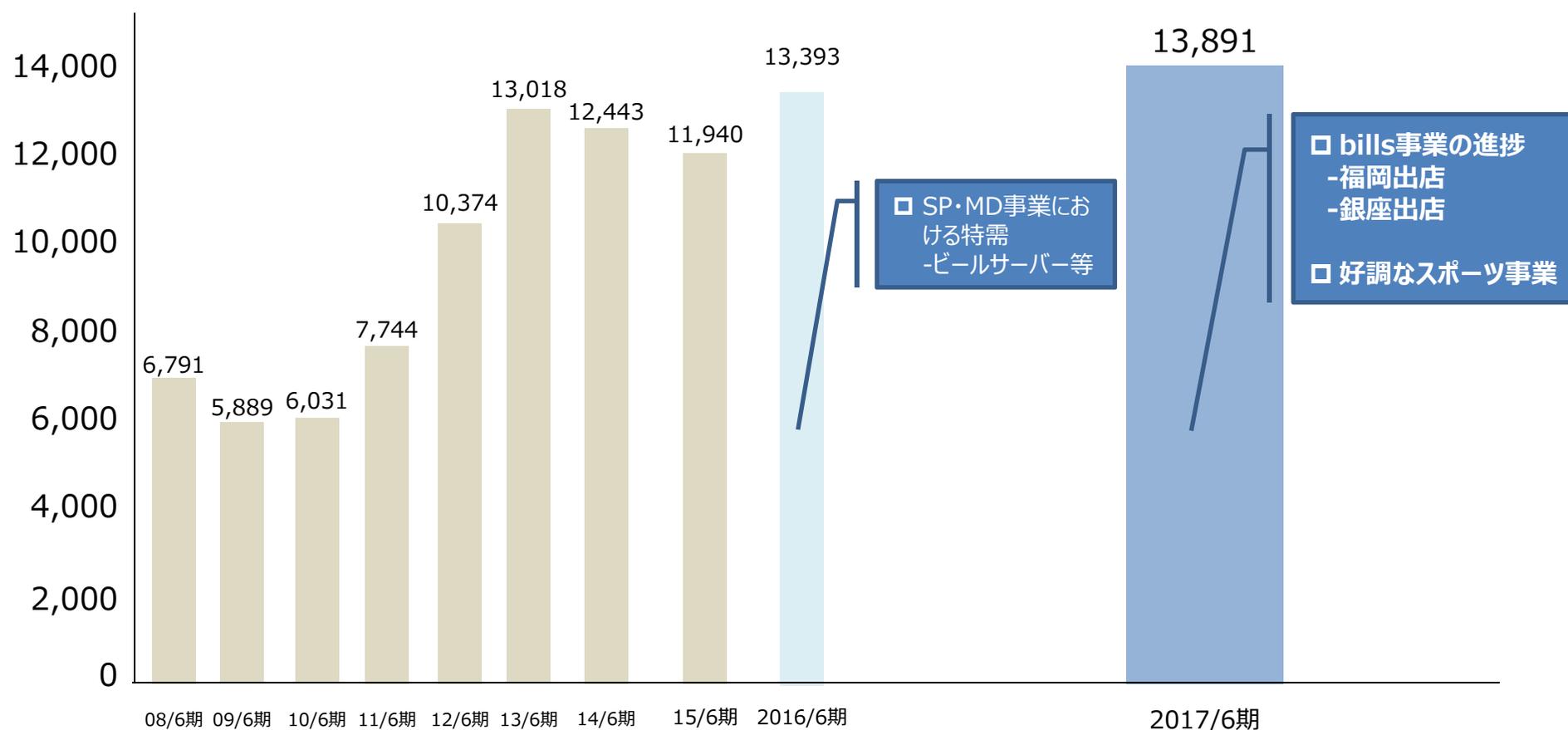
# 2017年6月期 連結売上推移



過去最高の売上高138億9,194万円（前期比3.7%増）

bills新規店舗(福岡・銀座) の出店および活性化するスポーツ市場に背景に受注獲得

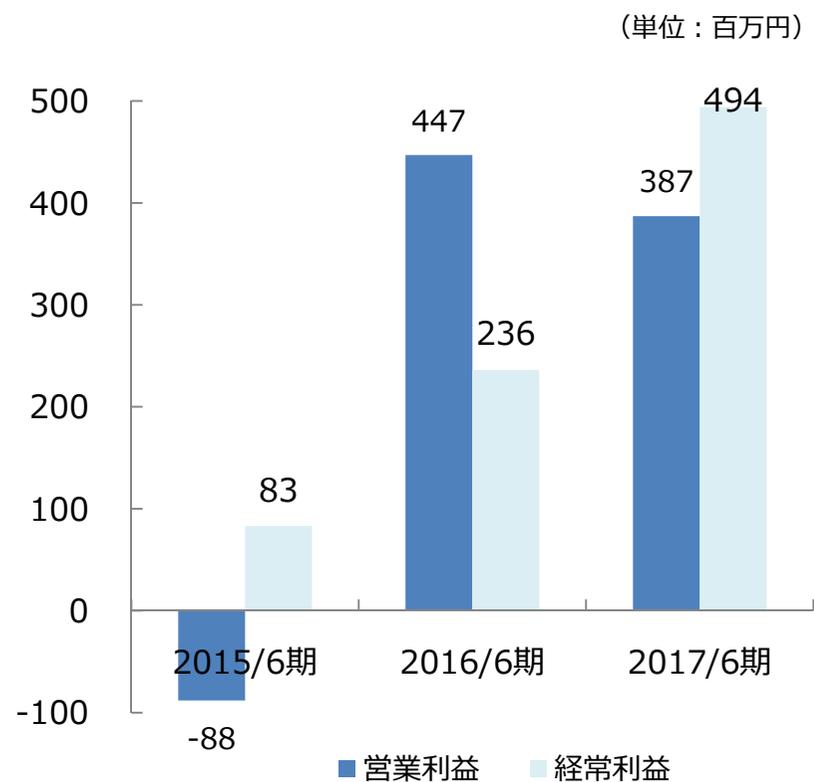
(単位：百万円)



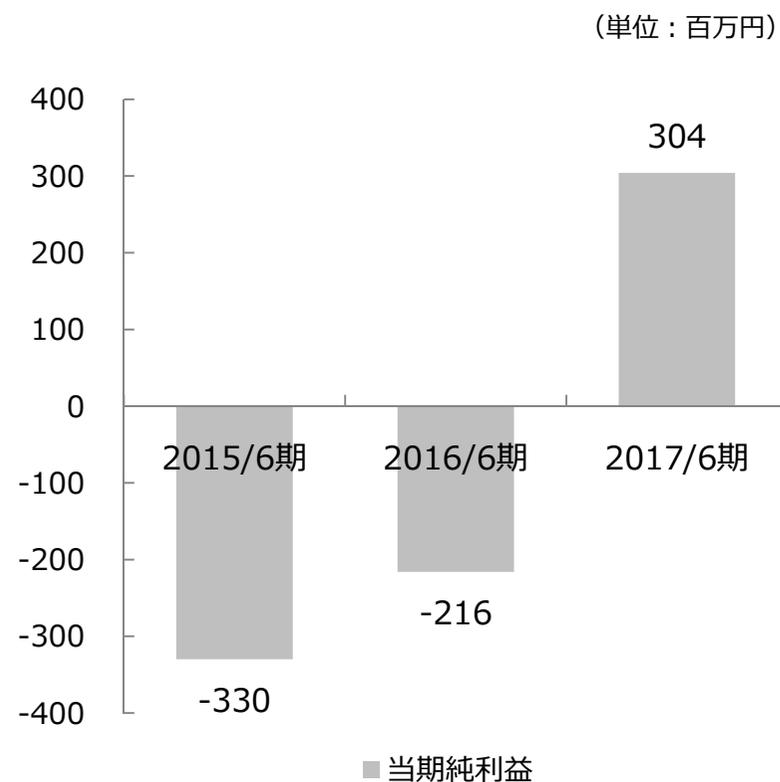
# 2017年6月期 連結業績推移



## 営業利益および経常利益の推移



## 当期純利益の推移



## 2017年6月期 連結貸借対照表



(百万円)

	2016年6月期	2017年6月期	増減
流動資産	4,300	3,966	△334
固定資産	1,472	1,739	266
総資産	5,773	5,706	△67
流動負債	3,204	2,938	△266
固定負債	1,166	1,212	45
負債合計	4,371	4,150	△220
純資産	1,402	1,555	153
負債純資産合計	5,773	5,706	△67

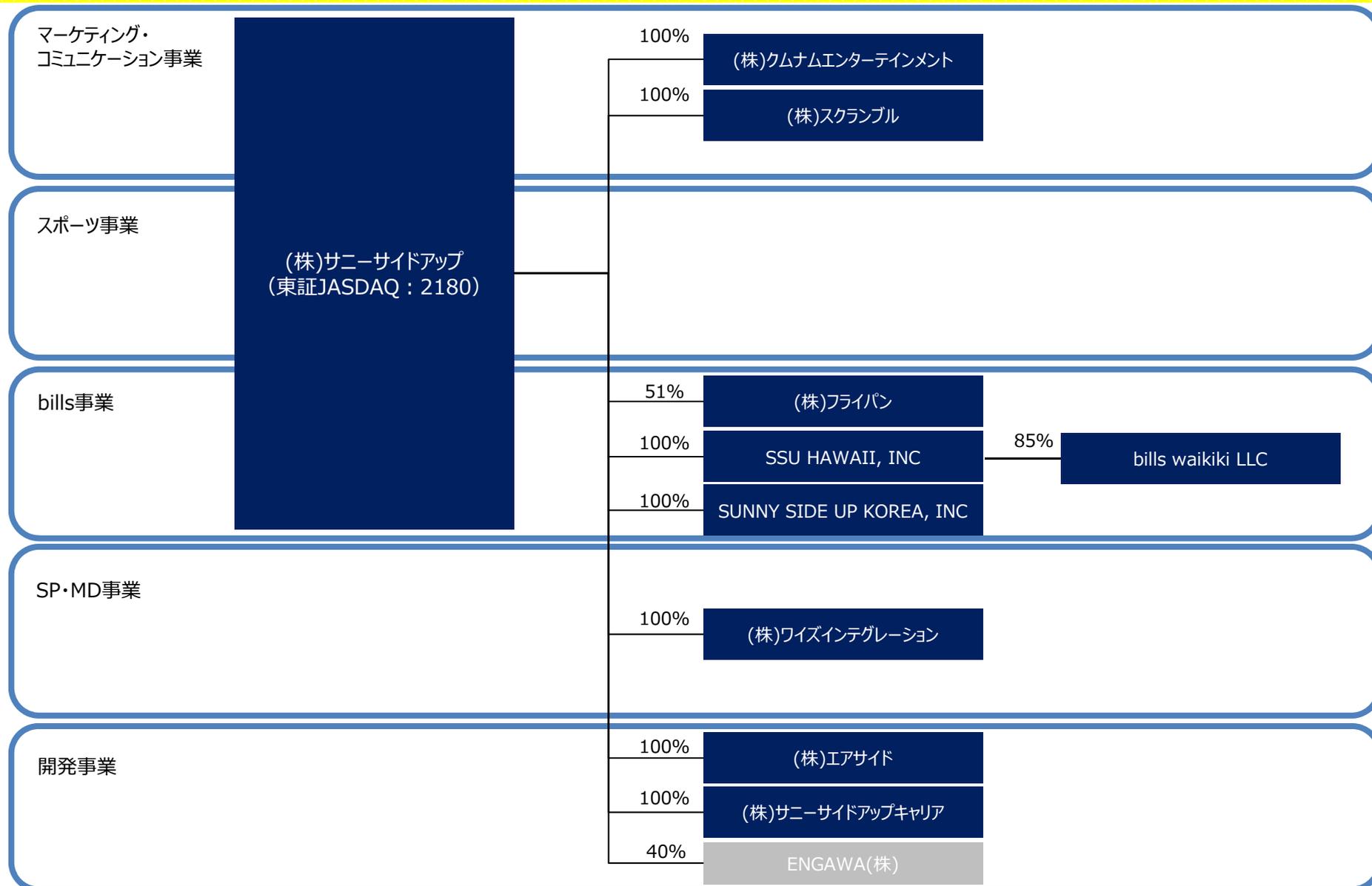
□ 売上規模、ビジネスの拡大に伴い、資金効率を重視

## SUNNY SIDE UP GROUP

	マーケティング・コミュニケーション事業	スポーツ事業	bills事業	開発事業	SP・MD事業
主要ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業・団体等に対し、各種マーケティング・コミュニケーション支援を実施</li> <li>■ 商業施設の開業PRをはじめ、幅広いPRソリューションを提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スポーツの関連するPR、プロモーション、コンテンツの開発</li> <li>■ スポーツイベントの企画・運営</li> <li>■ アスリートのトータル・マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 『bills』のブランディングおよびライセンシング</li> <li>■ 『bills』の海外店舗のプロデュース、ブランディングおよび運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ独自の新規ビジネスの創出・育成</li> <li>■ 新規ビジネスの立ち上げ、既存事業とのシナジー投資活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 店頭における購買機会のソリューション提供</li> <li>■ グッズを主体とした企業キャンペーンの企画・開発・実施</li> <li>■ OEM製造</li> </ul>
主要プレイヤー分布図	  		   	 	

# 2017年6月期 SSUグループ構成

たのしい  
さわぎを  
おこしたい  
Let's have fun!

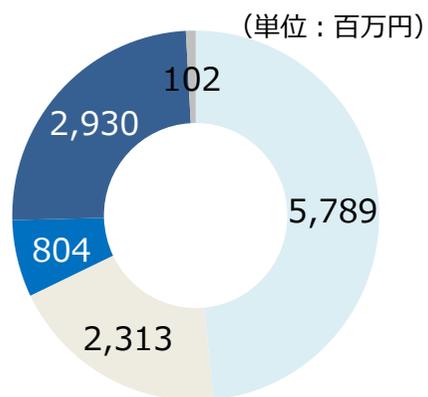


# 2017年6月期 セグメント別売上高推移

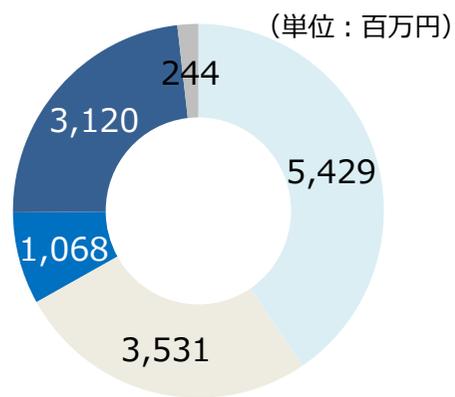


## マーケティング・コミュニケーション事業が引き続き業績を牽引

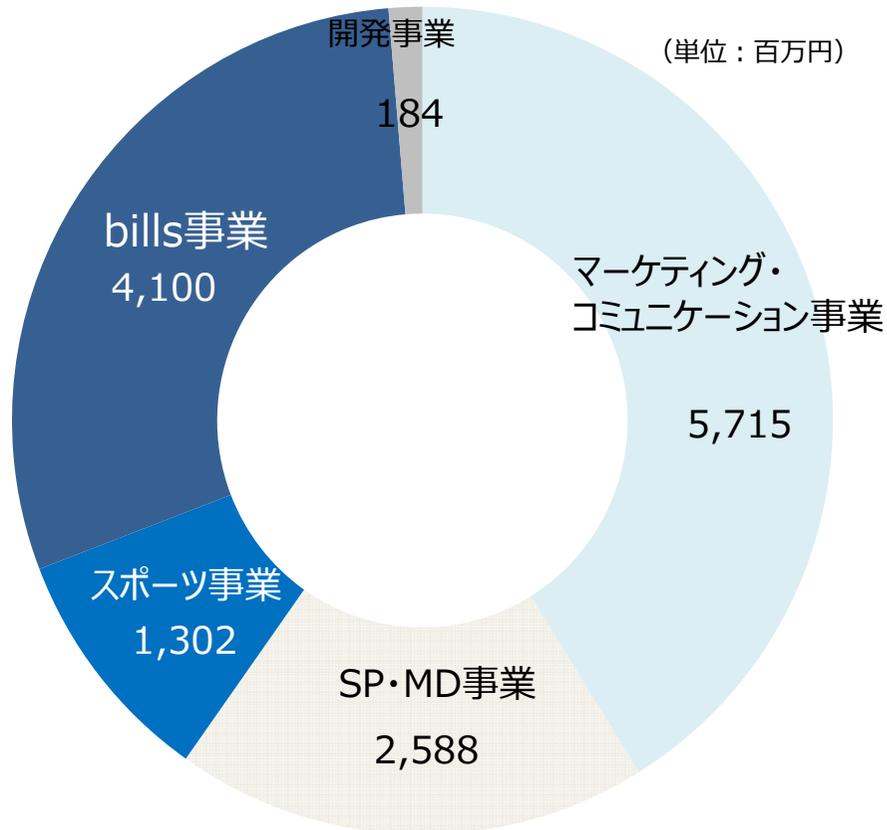
2015年6月期



2016年6月期



2017年6月期

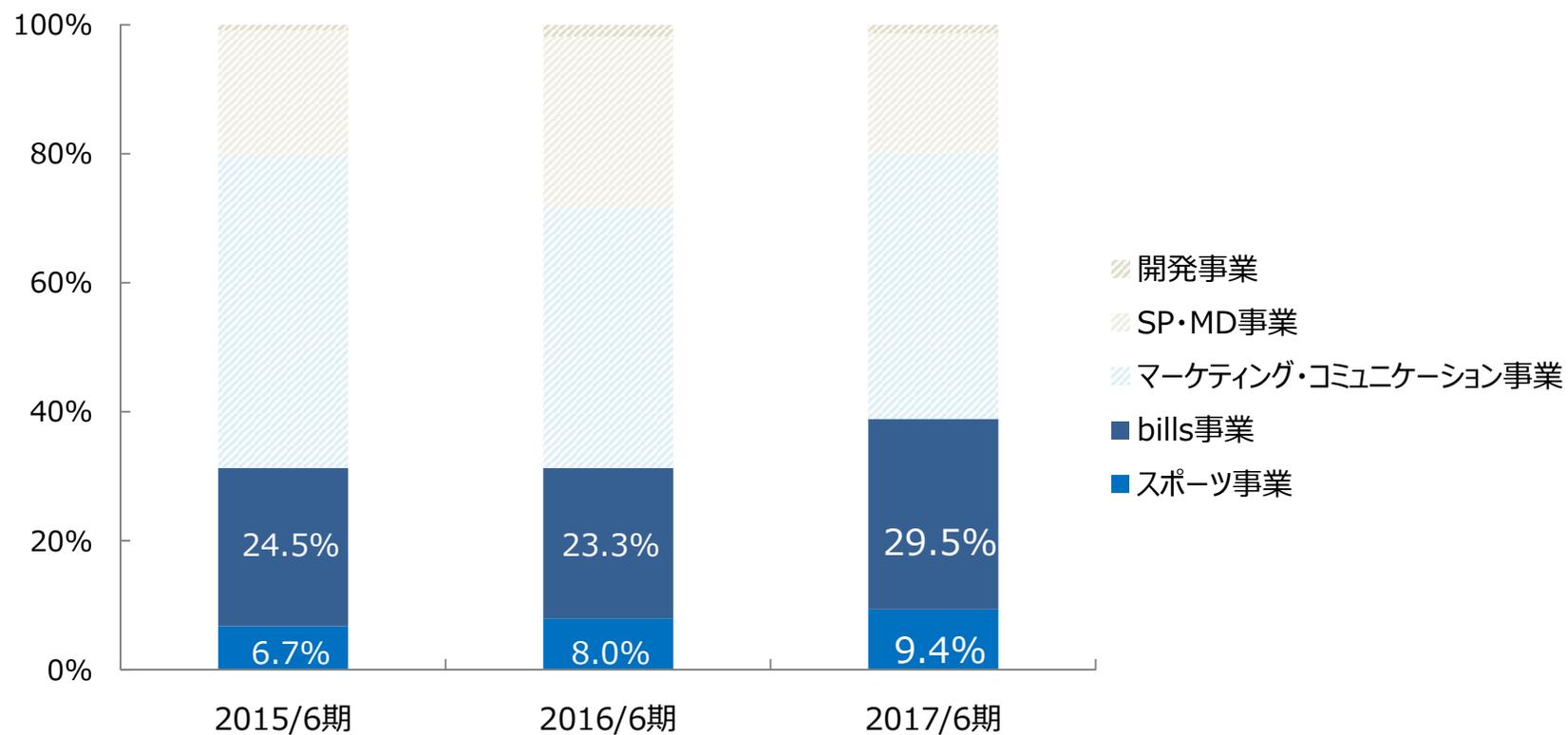


# 2017年6月期 セグメント別売上高推移



## スポーツ事業およびbills事業のセグメント売上比率が増加

セグメント別売上比率推移（直近3か年）



# 2017年6月期 セグメント別業績（1）

## マーケティング・コミュニケーション事業



2017/6期	セグメント 売上高	5,715百万円	セグメント 営業利益	595百万円
2016/6期	セグメント 売上高	5,429百万円	セグメント 営業利益	666百万円
2015/6期	セグメント 売上高	5,789百万円	セグメント 営業利益	694百万円

- セグメント売上高は、過去最高同等水準の57億円
- 拡大するPR市場においてビジネス機会を取り逃さないよう、積極的な人財投資を継続的に行った結果、予算は上回ったものの、利益は前期比減

## 2017年6月期 セグメント別業績（2）

### SP・MD事業



2017/6期	セグメント 売上高	2,588百万円	セグメント 営業利益	34百万円
2016/6期	セグメント 売上高	3,531百万円	セグメント 営業利益	294百万円
2015/6期	セグメント 売上高	2,313百万円	セグメント 営業利益	△110百万円

- 顧客層と案件の選択と集中を行った結果、既存ビジネスにおける売上基盤を構築
- 前期は大型案件があったため、売上高は前期比減
- 前期は記録的な利益を計上した一方で、2017年6月期については、今後の収益の柱を創出すべく投資を行ったため、利益は前期比減

# 2017年6月期 セグメント別業績（3）

## スポーツ事業



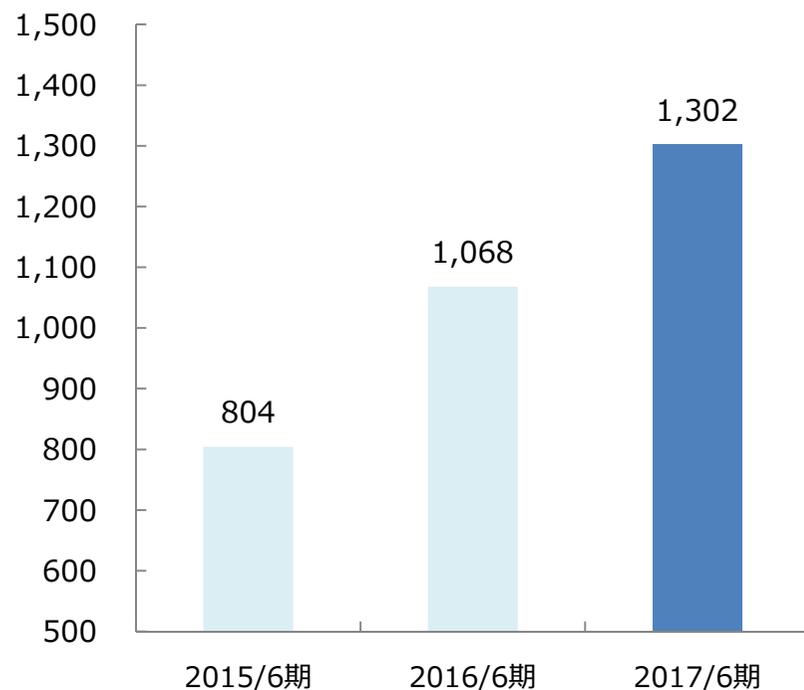
セグメント  
売上高

13.0億円  
前年比21.9%増

セグメント  
営業利益

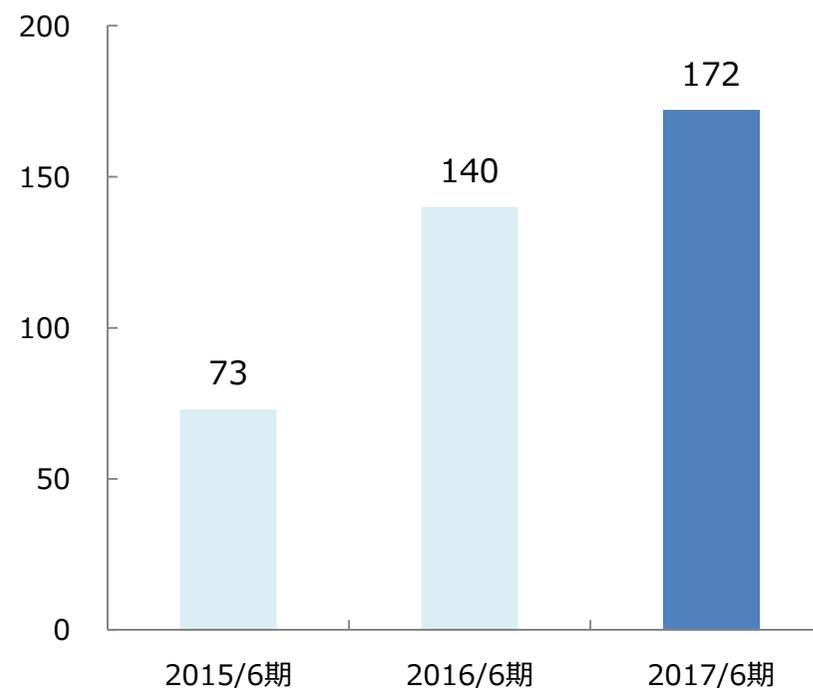
1.7億円  
前年比22.2%増

(単位：百万円)



- スポーツビジネスにおける当社のプレゼンスの向上、またスポーツ市場の拡大に伴い、売上は増加傾向であり前期を大きく上回る

(単位：百万円)



- スポーツ市場が好調に推移する中、受注案件の単価向上および収益力の向上に努めた結果、利益は前期を上回る

# 2017年6月期 セグメント別業績（4）

## bills事業



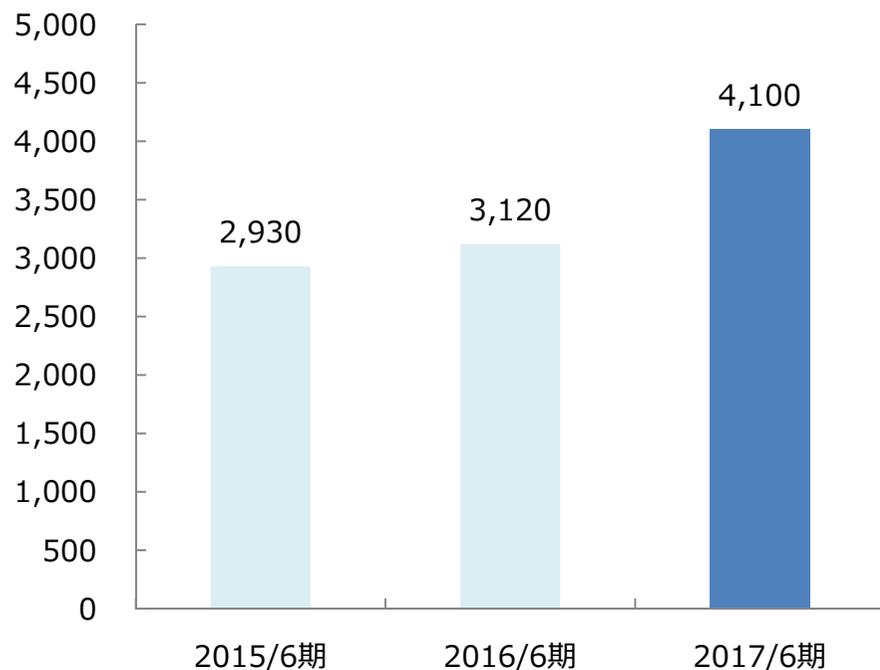
セグメント  
売上高

41.0億円  
前年比31.4%増

セグメント  
営業利益

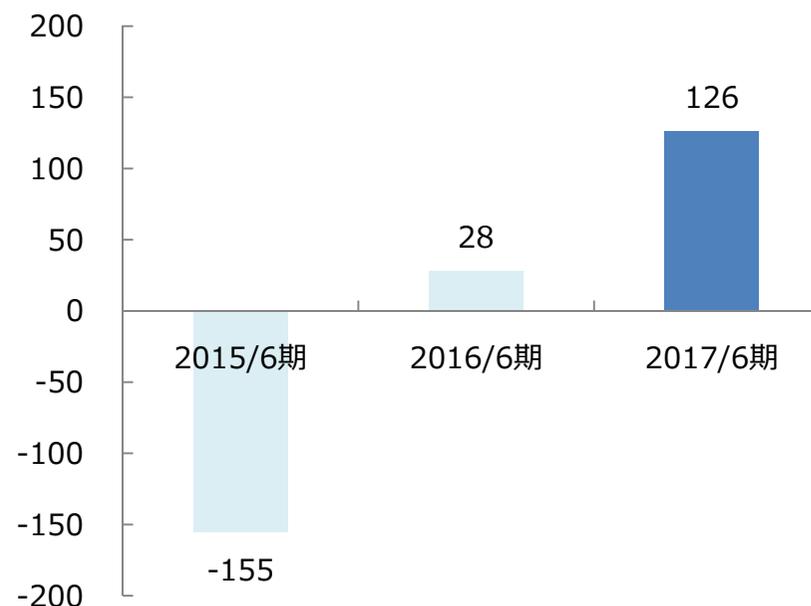
1.2億円  
前年比347.6%増

(単位：百万円)



- 店舗展開の拡大、集客力の向上により売上高は前期を大幅に上回った

(単位：百万円)



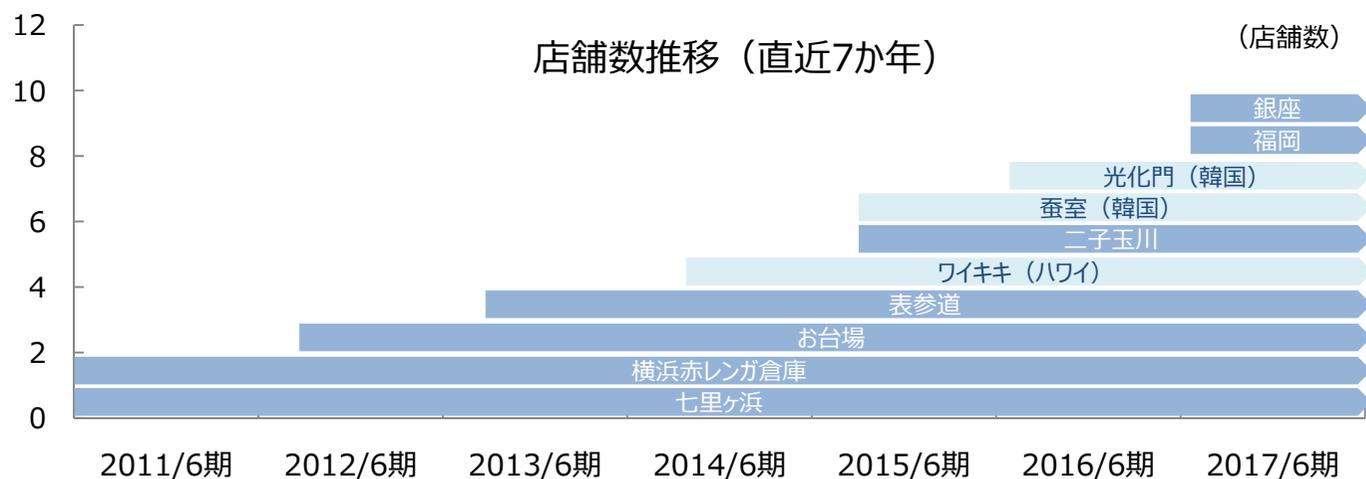
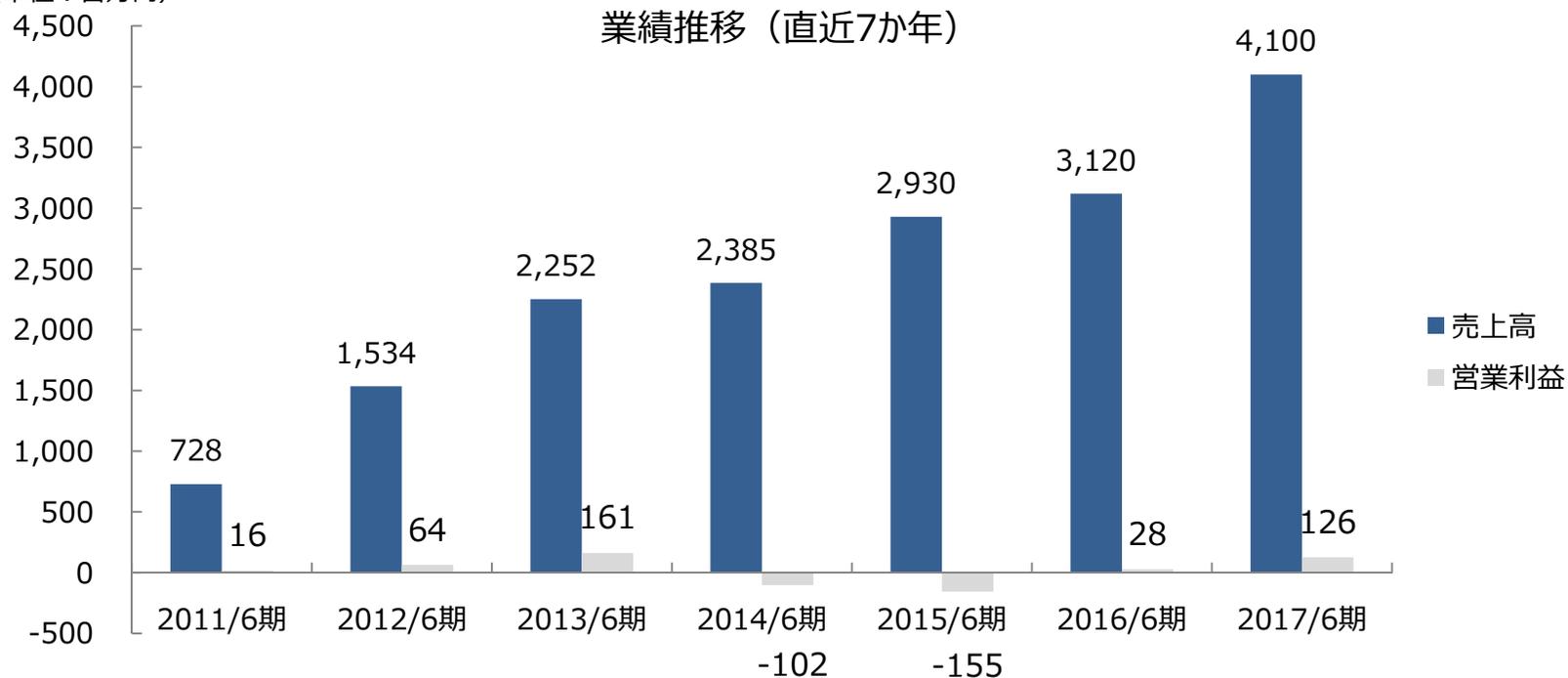
- ハワイ店をはじめとする海外店舗の収益性が改善したことにより、利益は大幅に前期を上回った

# 2017年6月期 セグメント別業績（4） - ご参考資料

## bills事業



(単位：百万円)



# 2017年6月期 セグメント別業績（5）

## 開発事業



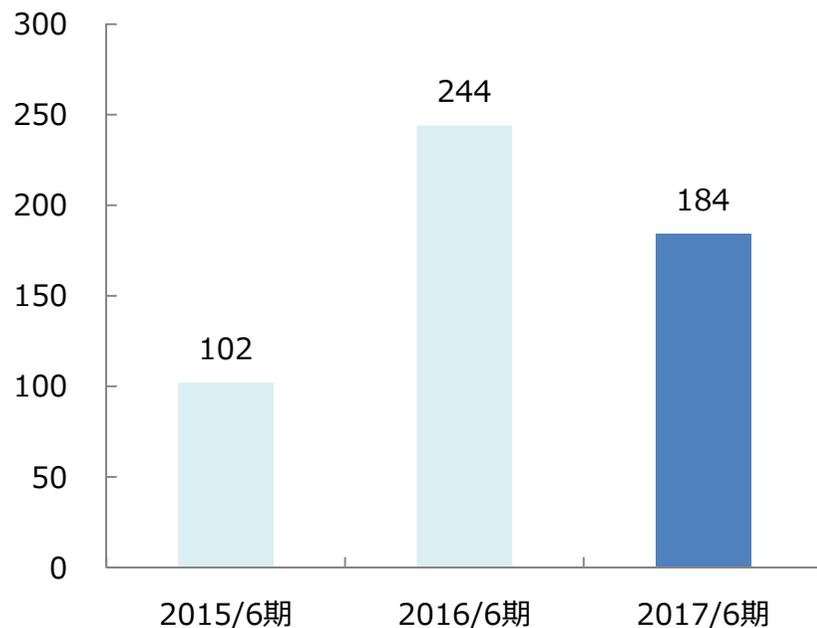
セグメント  
売上高

1.8億  
前年比24.3%減

セグメント  
営業利益

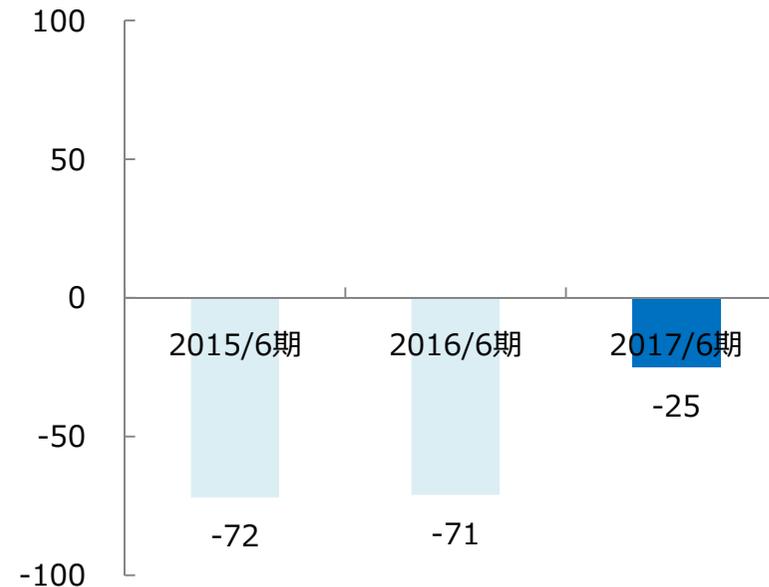
△0.2億  
赤字縮小

(単位：百万円)



□ ENGAWAを持分法適用会社に変更

(単位：百万円)



□ SSUキャリア、エアサイドは堅調に推移しており、赤字幅は大幅に削減

# 2017年6月期 株式分割

2017年5月30日を効力発生日として株式分割（2分割）を実施



流動性の向上及び投資家層の拡大を図る  
中長期計画における事業規模拡大に備え、より投資しやすい環境を整備

分割後  
時価総額

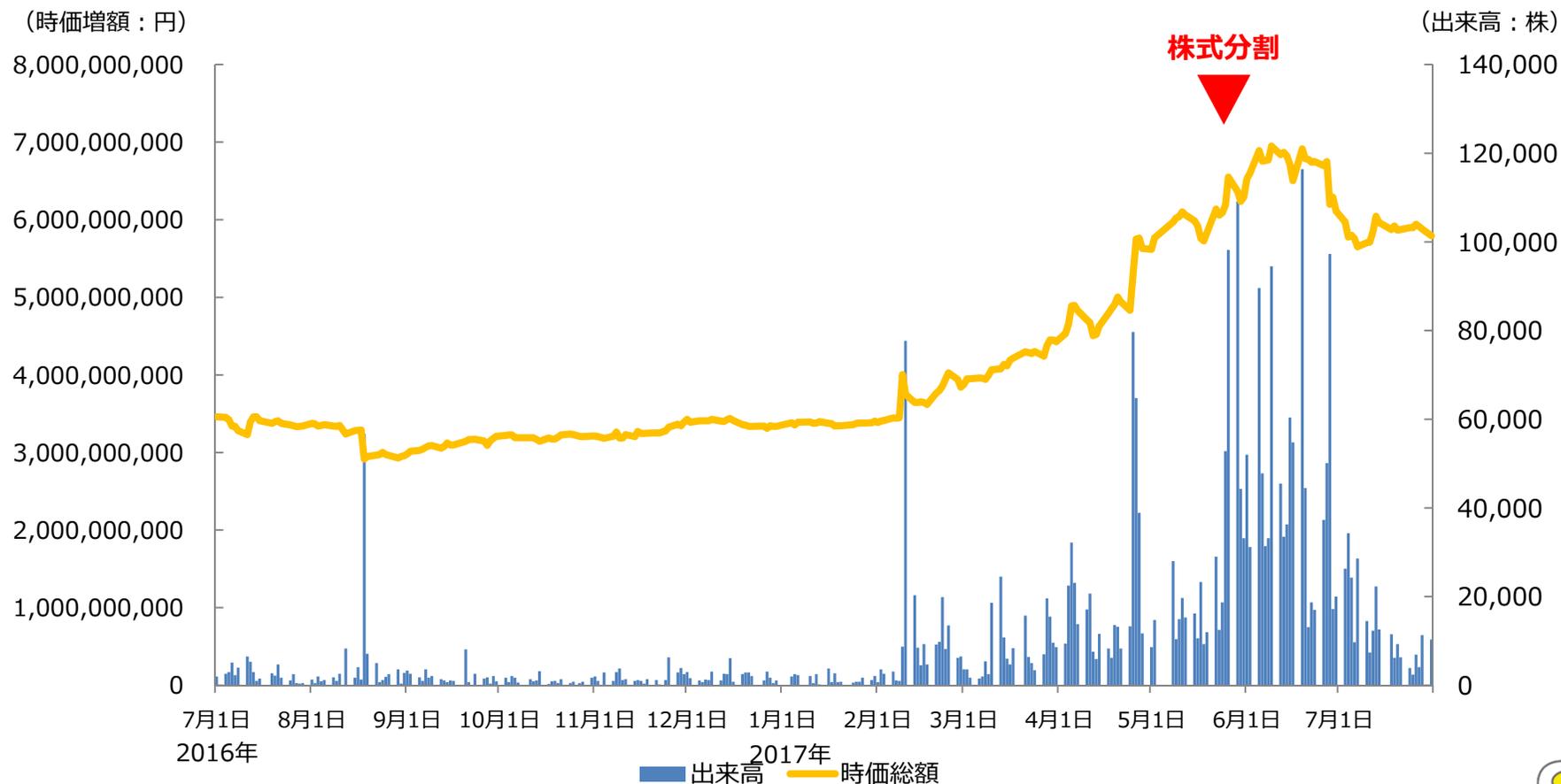
約1.7倍

※<sup>1</sup>前期末比較

分割後  
出来高数

約3.6倍

※<sup>2</sup>前年同期比



# 配当政策・株主還元

2017年6月期も前期に引き続き 積極的な株主還元を実施



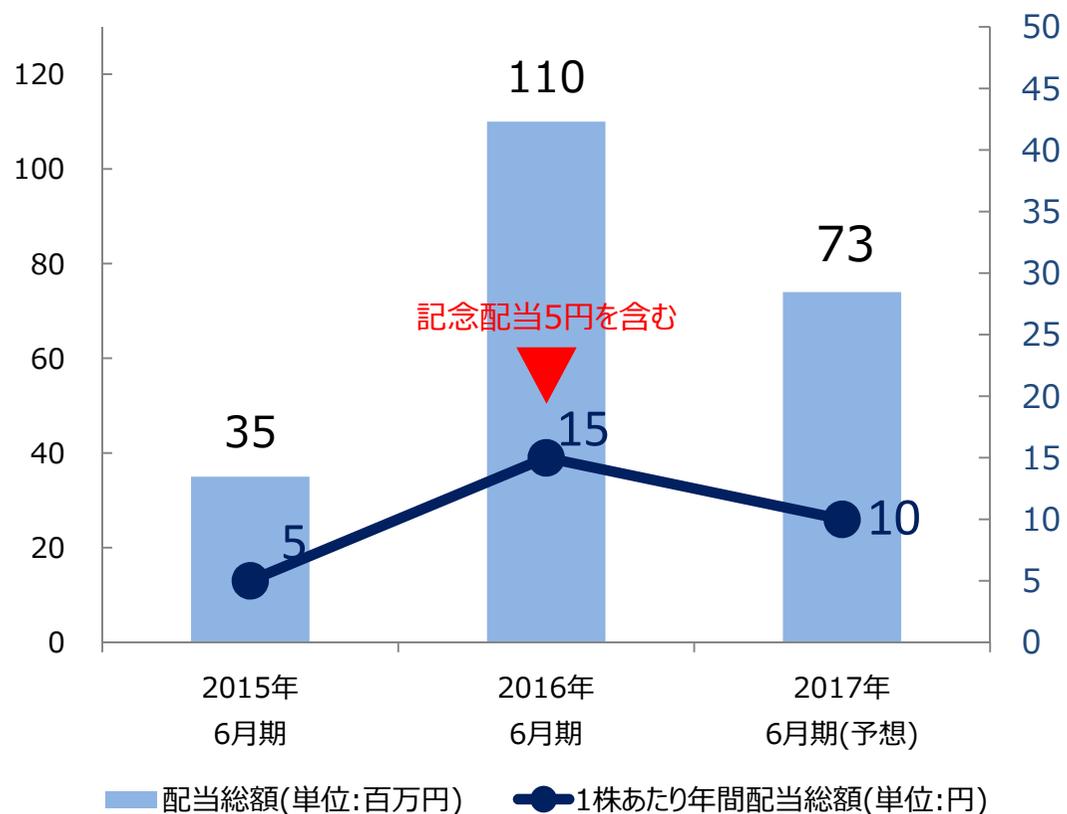
今後も財務健全性や将来の事業投資にむけた内部留保等を勘案したうえで、積極的かつ安定的な配当を実施してまいります

1株あたり  
年間配当総額

10円

配当総額

73百万円



(注) 2015年6月期～2016年6月期の1株あたり期末配当額は、株式2分割（2017年5月実施）を反映した数値

	2	0	1	7	年	6	月	期
営	業	活	動	ハ	イ	ラ	イ	ト

前方スライドをご覧ください

最 新 ト ピ ッ ク ス

前方スライドをご覧ください

# 当社の働き方改革

前方スライドをご覧ください



- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

以上、ご承知おきください。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社サニーサイドアップ グループ管理本部 経営企画部 TEL : 03-6894-2241 FAX : 03-5413-3052 mail : ir@ssu.co.jp